

The Japan Interior
Designers Association
Monthly Report
No.245
Jul, Aug, Sep, 2009

JID news

JID月報：通巻245号
平成21年7月・8月・9月号
発行日：平成21年9月30日

発行：(社)日本インテリアデザイナー協会
〒163-1008 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー8F
電話 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559
発行人：酒井正人

社団法人日本インテリアデザイナー協会

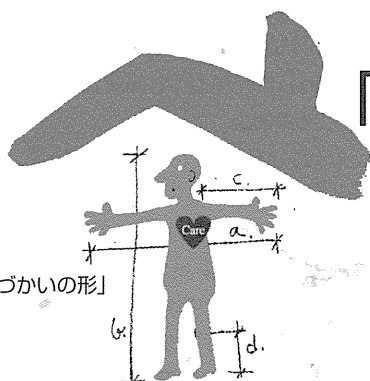
目次

巻頭：「ケアを支えるデザイン」展
開催のお知らせ

平成21年度 第2回理事会報告	2
公益法人制度改革特別委員会報告	5
トップコラム	5
本部報告(総務委員会・選考委員会)	6
// (特別事業委員会)	7
支部活動報告(関東事業支部)	8
// (関西事業支部)	10
// (中部事業支部)	11
MEMBER'S SALON	12
JIDの新たな門出に(新・会員の声)	13
新会員紹介	15

事務局からのお知らせ 15

「ケアを支えるデザイン」展



デザインは「ケア・こころづかいの形」

「ケアを支えるデザイン」展 開催のお知らせ

関東事業支部 からだとこころのケアデザイン委員会
委員長 小野 由記子

日時：11月19日(木)～11月24日(火)

場所：東京新宿パークタワーホール OZONE 3F プラザ

①展覧会「ケアを支えるデザイン」展

②シンポジウム「ケアを支えるデザイン」

11月19日(木) 13:00開場

③出版・「Rooms for Care」2009年版

・「ケアデザイン情報Map」

私たちは
まずひとりのあなたの
身になることからデザインを始めます

かけがえのない
ただ一人のあなたのからだところが
おだやかにのびのびと
くつろげる場を考えます

ひとりのあなたの中に
みんながいるからです

谷川俊太郎

左のことばは、「Rooms for Care」の巻頭ページに谷川俊太郎氏が寄せてくださったものです。私達の思いを見事に表現されています。感謝したいせつにしてゆくことばです。

構想発表以来、各方面から大きな関心を寄せられております本展については、これまで度々お知らせして参りましたが、この度、具体的な内容がまとまりましたので、改めてご案内いたします。なお、その詳細は本誌9頁、関東事業支部活動報告欄をご覧ください。

理事会報告

平成21年度 第2回理事会

日時：平成21年7月31日(金) 15:00～17:30

場所：社団法人日本インテリアデザイナー協会

本部事務局隣 OZONE 会議室

出席：理事長 酒井 正人

副理事長 阪井 良種、清家 淳一

理事 安藤 清、安藤 眞吾、小野 由記子、

川崎 泰秀、佐藤 健一、長岡 貞夫、

中田 重克、村口 峯子

監事 川上 信二、(欠席)宇賀 敏夫

顧問 (欠席)川上 玲子

事務局長 峰尾 武

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- [2] D-8 ジャパン・デザイン・ミュージアム「パイロット展」及び
代表者会議
- [3] (社)商業施設技術者・団体連合会 委員会への委員推薦
- [4] エコ基金について
- [5] 財務運営資金繰り
- [6] 次回会議予定

II 議題

- 第1号議案 役員選挙規定改定(案)検討再承認の件
- 第2号議案 JID功労賞表彰規約(案)検討再承認の件
- 第3号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第4号議案 会員入退会承認の件、年間会員異動状況
- 第5号議案 議事録署名人選任の件

I 報告事項

- [1] 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

◆関東事業支部(村口)

平成21年度第3回運営委員会及び公益法人改革特別委員会を7月15日に開催。

1. 総務・組織委員会

支部・会員・一般・学生の交流新企画セミナーを9月～10月と22年3月実施で検討中。

2. 事業委員会

下町プロジェクト2班に分けリサーチ中、更に23区に拡大情報収集。

3. 広報委員会

中期的に研究会及びセミナー対象のテーマ検討中。

4. 国際・交流委員会

本部国際委員会企画「在日留学生対象ワークショップ」を11月末～12月初めに計画。

5. 広報委員会

会員HPページ更新、新規エントリー告知完了と更新作業中、

トップページリニューアル及びHP説明会を9月に予定。

6. からだところのデザイン委員会

企画内容ブラッシュアップ、出版・シンポジウム・展覧会への協賛企業100社募集中。

7. JIDこどもデザイン学校

こどもデザイン学校2009年度キッズデザイン賞応募結果、落選。

8. 公益法人改革特別委員会

理事長より現在の情報及びJIDの公益性事業と総事業費の50%の公益事業が必要等説明あり討議、今後JID事業の分析と新公益事業へ発展可能性等を検証し、継続討議する。

◆中部事業支部(安藤清)

1. 6月8日 6月度役員会・定例会実施、(中部会員作品発表、メーカー vs 会員作品他)。
2. 6月19日 中部インテリア連絡会、当地域学生増につき木質系インテリア話題新設校見学。
3. 7月4日 CCDO中部デザイン団体協議会総会(CCDOデザインアワードに大瀧隆会員推薦・平成名古屋異人録500人・HPデビュー・NOW更新・名古屋市、国際デザインセンター、CCDO共催「なごやデザインウィーク・デザイン啓発事業」)。
4. 7月13日 7月度役員会・定例会、中部会員作品発表。
9月12日 メーカー・会員作品展来春予定。
5. 7月23日 第25回中部インテリアデザイン連絡会、第5回インテリアリレーセミナー10月30日立ち上げ。

今後の予定

1. 8月4日 A・I・A(アクティブ インテリア アソシエーション)親睦・研修会。
2. 8月10日 8月度役員会・定例会。
3. 9月12日 第1回中部会員作品・活動プレゼン・メーカー新作発表会。
4. 9月14日 9月度役員会・定例会。

◆関西事業支部(安藤眞吾)

1. 総務・広報委員会

6月6日(木) 平成21年度支部総会・見学会開催、見学会「重森三玲庭園美術館」、総会「がんこ高瀬川二条苑」。

7月3日 21年度第1回「e-ECHO」編集会議及び21年度第2回支部運営委員会開催。

2. 国際委員会

オーレ・アンダーソン氏関西セミナー企画、11月17日大阪産業大学主催にて開催決定。

3. 研究委員会

「セカンドライフの住まい展」募集要項検討、12月2日～6日大阪市立住まい情報センター8階企画展示室「日本の空間デザイン2009展」内ブースで展示予定。

その他、IFIDバイ代表団にペリー史子会員推薦決定。

4. 事業委員会

「セカンドライフの住まい展」協力

5. JID-ACT kansai 6月9日(火) 定例会議開催。

今後の予定

1. 総務・広報委員会

8月8日(土) セミナー「フランクロイドライトへの想い」、塚口会員の「ライト仮面の生涯」完全翻訳本出版を記念、パーティ開催予定。

2. 国際委員会

オーレ・アンダーソン関西滞在サポート案策定。

3. 研究委員会

「セカンドライフの住まい展」会員向け募集開始と案内チラシの配布。

4. 事業委員会

セミナー「フランクロイドライトへの想い」と記念パーティ協力他。

5. JID-ACT kansai 8月17日(火) 定例会議開催予定。

◆九州事業支部(川崎)

7月18日(土) 第1回役員会開催

1. 川崎理事の本部総会報告及び公益法人改革についての報告。

2. 例会の定期開催。

3. ドローイング展九州巡回展について会場の都合で次年度へ変更。

4. 支部HP更新、会員・賛助会員HPリンクを討議、又本部、支部広報の担当者会議を希望。

5. ACTの会について討議、現在各支部とも大きな動きなし。

今後の予定

1. 9月上旬 山口例会、白壁の町柳井とメイクホーム(戎谷会員)訪問予定。

2. 10月 宮崎例会、日本一薪能観賞とアトリエ・アイ(尾形会員)訪問予定。

3. 12月中旬 熊本例会、1月中旬福岡例会をそれぞれ予定。

◆本部総務委員会(中田、佐藤、川崎)

委員会開催、6月23日、7月8日、7月21日

1. 第41回通常総会懇親会の開催参加者61名。

2. JIDリーフレット改訂版編集会議6回実施、最終校正作業中、2000部印刷予定。

3. ベネフィット・ステーション新規募集、更新13名、新規加入4名、退会1名、計16名。

◆本部国際委員会(小野)

1. 2009IFI総会がUAEドバイで決定、総会11月8日・9日及びデザイン・コンGRESを10日・11日に開催、大森国際委員長及び森副委員長を派遣、支部から代表参加は関西よりペリー史子会員が決定。

デザイン・コンGRESへのスピーカー推薦依頼がAPID(ドバイインテリアデザイナー協会)よりあり、調整中。

2. 5月28日 委員会開催、留学生対象ワークショップを森美香子副委員長で対応協議。

3. 7月22日 委員会開催、関西・国際交流委員会ペリー史子氏も参加。IFI総会討議、参加費について予算検討、一部は代表派遣者個人負担となる。又、IFI総会に向けてJIDの提案などAGENDAを大森委員長リーダーにIFI総会出席経験者等の意見を踏まえ検討する。

4. その他

留学生対象ワークショップに関するリサーチ報告があり、本部国際委員会企画、関東事業支部国際・交流委員会実施で予算等詰めることとした。

今後の予定

1. IFI総会、デザイン・コンGRES準備及び留学生対象ワークショップ開催等検討する。

◆本部広報委員会 インターネット(安藤真吾、安藤清、川崎)

1. 6月24日「JIDウェブサイトトップページ」のイメージキャプチャをJID会員募集パンフレット用に作成、本部総務委員会へ提供。

今後の予定

1. JAGDA(日本グラフィックデザイナー協会)のイントラネットとの提携について検討(継続)

2. 英文ページの内容充実(継続)。

3. 支部ページとの連携推進(継続)。

4. 本部メールサーバーのメンテナンス業務及びメール環境等の問題検討。

◆本部広報委員会 JID News(安藤真吾、安藤清、川崎)

1. JID News 244号発行、6月27日発送。

今後の予定

1. JID News 245号スケジュール

7月31日(金) エントリーお知らせ、8月7日(金)編集企画会議、

8月14日(金) エントリー締切り、8月28日(金)原稿締切り、

9月18日(金)編集校正会議、9月末発行予定。

経費について244号から印刷費10%節減を実施。その他JID News 担当八十氏について今期はJID News委員長とすることで決定。

◆選考委員会(長岡)

1. 2010年JID賞ビエンナーレ応募者数報告、前回は30点上回る217点の応募があり部門別数は(インテリアスペース174点)(インテリアプロダクト41点)(インテリア研究・著作・業績2点)。

2. 7月9日(木) 第1次審査実施。

今後の予定

1. 8月5日(水) 第2次審査、現地審査作品選定と担当者決定及び賞楯、リーフレットの企画検討、以下10月下旬最終審査、11月下旬入賞者に通知、2010年1月表彰式とJID賞展予定又表彰式の場所等今後検討。

2. 入賞者へ協会と何らかの繋がりを持てるか、改革委員会以案が出来れば選考委員会に提案。

◆特別事業委員会・こどもインテリアデザイン学校委員会(村口)

1. 6月22日 委員会開催、委員公募で小川和彦会員参加、OZONE事業推進部より「子育てハウス展」へのワークショップ参加依頼があり、JTの承認を経て本事業のプレイベントとして1回完結のワークショップを7月30日・31日にOZONE3階プラザにて開催した。

2. 7月10日(金) 委員会開催、新委員として菅野民子会員、大槻圭子会員参加、役員に小野上副委員長(渉外)・村元(会

計)・菅野、小川(広報)を決定、OZONEプレイベントの詳細確認、模型キッド・カリキュラムの検討を実施。

今後の予定

1. 本事業の実施会場交渉状況について

①所沢市立富岡公民館、②川崎市立こども文化センター、③国立新美術館、④町田市まちづくり公社、⑤世田谷区教育委員会等、交渉。

◆公益法人制度改革委員会(全理事)

本理事会に先立ち行われた公益法人制度改革委員会の内容説明、今後JIDの事業内容の分析や経理処理の状況等シミュレーション検討する。

[2]-1

D-8 ジャパン・デザイン・ミュージアム『パイロット展』(阪井良種) 日本デザイン団体協議会(D-8)ジャパン・デザイン・ミュージアム『パイロット展』の企画進行状況及び決算・予算について説明、現在各実行委員会にて計画進行中で今年度より各協会とも年会費7万円にプラス5万円を提出することに決定。

[2]-2

日本デザイン団体協議会(D-8)代表者会議(酒井正人) 平成21年度事業報告、22年度予算について及び21～22年度幹事団体に日本ジュウリーデザイナー協会が当たる旨代表者会議での報告を説明。その他、D-8各団体の会員数及び会費の状況を報告。

[3] (社)商業施設技術者・団体連合会への委員派遣について 商業施設技術者・団体連合会の常設委員会への委員選出依頼があり、理事会で検討、会員へ公募の後応募者なき場合は理事会了解で適切な会員を指名することに決定。

[4] エコ基金について

エコ基金に関しては有力な提供先としてJT補助事業団体等アプローチ検討する。

[5] 財務運営資金繰り

本部21年6月末及び特別事業の6月末状況について事務局長より説明。

[6] 次回会議予定

第3回公益法人改革委員会 9月25日(金)13:00～14:45

平成21年度第3回理事会 9月25日(金)15:00～17:30

以上につき理事会了承。

II 議題

◆第1号議案：役員選挙規定改定(案)検討再承認の件 役員選挙規定第4条について改定案を事務局長より説明、一部修正決定、次回JID News等にて同封正会員に告知する。

◆第2号議案：JID 功労賞表彰規約(案)検討再承認の件

総務担当理事より規約について説明原案にて決定、次回JID News等にて会員に告知する。

◆第3号議案：後援・協賛名義承認の件(13件)

会員展『花咲くクラフト』…………… 後援・新規
学生デザイン作品展『いとへん展』…………… 後援・新規
『環境セミナー』…………… 後援・新規
『第7回主張する「みせ」学生デザインコンペ』…………… 後援・新規
『インテリアフェスティバル2009』…………… 後援・継続
『eco japan cup 2009』…………… 後援・継続
『エコ・プロダクツデザインコンペ 2009』…………… 後援・継続
『プロと卵のエコデザイン展 2009 ～未来への贈りもの～』…………… 後援・継続
『華胥の夢博2009』…………… 後援・継続
『インテリアトレンドショー 第28回 JAPANTECH 2009』…………… 協賛・継続
『TOKYO URBAN LIFE 2009』…………… 協賛・継続
『I-PEC 2009』…………… 特別協賛・継続
『第24回全国高等学校インテリアデザイン展』…………… 交付・継続

◆第5号議案：会員入退会承認の件(4件)

●正会員 入会(2件)
神野 厚美(中部) 推薦人:事務局
小島 直子(関東) 推薦人:吉田紗栄子・小野由記子
●正会員 退会(1件) 0892 高尾 齊(関東)
●賛助会員 退会(1件) 3087 株式会社ニチペイ(関東)
年間会員異動状況(平成21年度第2回理事会)について事務局長より説明。
●報告事項(訃報)(1件)
梶田 尚令(関東正会員) 平成21年7月12日逝去 享年70歳

◆第6号議案：議事録署名人選任の件

中田重克理事、阪井良種副理事長を選出。

以上につき理事会承認。

公益法人制度改革特別委員会

「公益法人制度改革・特別委員会」報告

理事長／特別委員会 委員長 酒井 正人

昨年12月より施行された「公益法人制度改革」。今後5年間で「公益社団法人」か「一般社団法人」かを検討し、内閣府へ申請をしなければなりません。JIDでは4支部に「公益法人制度改革」について検討するセクションをつくり、できるだけ多くの会員皆様のご意見を集約し、理事会メンバーで構成する本部「公益法人制度改革・特別委員会」を理事会と同時に開催し、対応の検討を開始しました。今年度中に結論をだし、その後、法改正にともなう組織移行への準備を進めたいと予定しています。

7月31日に開催した第1回特別委員会では、4事業支部での委員会開催の報告や意見に基づき、今後の検討課題を確認しました。

「公益社団法人」について

1. JIDが行う事業の50%以上が公益事業の規定に合致

するか、また、新たな公益事業を計画できるか

2. 総事業費の50%以上を公益事業へ支出しなければならないため、組織を運営する管理費や会員サービス(公益活動)の活動費用をまかなうことが可能か
3. 新たな会計基準により事務管理費用の増額が予想されるがどの程度の増額になるか

「一般社団法人」について

1. 一定の基準を満たせば申請登記できるため、JIDと類似した団体が今後設立される可能性がある
2. 50年間公益法人としての歴史と実績、職能団体としての役割と魅力をさらに充実させる必要性
3. 経産省やD-8(デザイン8団体)とのパイプを強化し独自の公益性を構築する

現在においては、まだ結論が出せる段階ではありませんが、JIDの将来を予測し、会員が魅力と誇りをもって活動できる組織へ、さらに発展できることを基本に「公益法人制度改革」への対応に望んでまいります。最新状況については、メールニュース等でも皆様へお伝えしていきたいと思います。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。



理事長
酒井 正人

8月1日、(社)東京建築士会主催、JIDが後援した「第1回環境セミナー」が晴海トリトンスクエアで開催されました。この「環境セミナー」は住環境の設計に携わる建築士やインテリアデザイナー、設備建築士等の専門家が共通の理念のもとに、住環境の課題解決に速急に取り組む必要があることから企画されたセミナーです。

第1回目は、宿谷昌則氏(東京都立大学環境情報学部教授)の「自然のポテンシャルを活かす住まいの環境づくり」と井上隆氏(東京理科大学理工学部建築学科教授)の「住まいにおけるエネルギー消費を調べる」という2つのセミナーで構成されました。

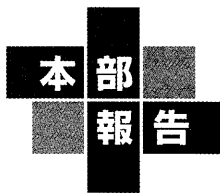
前半は宿谷教授による「環境は入れ子である」というレクチャーからスタート。私達の暮らしは、家・会社・買い物等…1日の大半を建物内や室内で過ごしており、それを人生に置き換えると、実に平均64年以上を建物内や室内で過ごすことになるのだそうです。人生の大半を過ごす環境である、室内環境における快適性や環境共生のテーマは、その領域を仕事の専門とする私達インテリアデザイナーにとって、正しい知識の認識と責任の重要性を

改めて痛感するセミナー内容でした。

そして、後半は井上教授による「省エネの実態」という、こちらもたいへん興味深いレクチャーでした。一般家庭における4つのエネルギー資源(1 暖房・2 冷房・3 照明家電・4 給湯)のうちで、エネルギー消費が一番大きい項目は何か?という調査をした結果、生活者の答えは、1位が「冷房」・2位が「暖房」・3位が「給湯」・4位が「照明家電」だそうです。しかし、正確な答えは、1位「給湯」・2位「照明家電」・3位「暖房」・4位「冷房」で、つまり、一番省エネと認識している「冷房」がエネルギー消費が最も小さく、エネルギー消費が大きく、最も省エネを考えなければならぬ「給湯」や「照明家電」については省エネの認識が低いという実態があるという報告なのです。会場ではセミナーに参加した専門家へも同様の質問をされましたが、正しい回答を提示したのはやはり20%程度でした。

地域環境や企業による環境対策は進んでいますが、実は家庭における省エネ・環境対策の社会的影響は大きく、今回のセミナー参加により、私達インテリアデザイナーの役割、責任の重要性を再認識する時間となりました。この「環境セミナー」は、2回目が12月5日に開催(事務局より改めてご案内致します)され、今後も継続していきます。職能のスキルアップにもたいへん効果的な内容だと思いますので、会員の皆様にはぜひご参加いただければ幸いです。

このコラムについてご意見や感想などぜひお聞かせ下さい。 head@jid.or.jp



総務委員会

担当理事：中田 重克
委員長：井出 昭子

新しい選挙で、本当に必要な人材を選出しましょう。
役員選挙の告知方法が変わりました。
本部総務委員会 担当理事 中田 重克

今回の規定変更は、改革委員会からの提案が具体化され、総会での会員のご意見を取り入れて理事会にて決定されたものです。

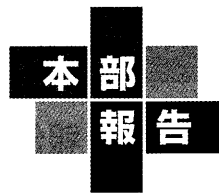
最近の選挙では、当選された会員が理事を引き受けない事が多く重なり、皆さんの一票が活かされませんでした。今回から、それを無くす為に、推薦者は推薦する人に確認を取り、推薦者と推薦された会員のコメントも載せることにしました。もちろん我こそはと思う方は、役員選挙に立候補して下さい。

もう一つ、会員の役員選挙への関心が無いこと。もっとJIDの将来を経営してゆく理事会の役員選挙を重要に捉えて頂きたい。そこで、本部総務委員会では、この規定変更に伴い、さらに、会員の皆様にもっと役員選挙に関心を持って貰いたいという意図から、新しい選挙を積極的に告知することにしました。

かく言う私自身も、「選挙に受かってますので、理事を引き受けて貰えますか」という事務局からの電話があるまで、当選していることにも気が付きませんでした。今期、久々に理事になって解った事は、50周年も終わって、次の着地点を目指すJIDですが、25年前の理事になった時と比べると、かなり会勢が衰えていることでした。時代も変わりましたが、JIDという組織の魅力が減少していることに起因しているのです。

JIDの現在は、公益法人の問題と、リーマンショックに始まった100年来の未曾有の不景気と、ダブルパンチを受けています。この難局を乗りきる為には、しっかりとした経営陣、つまり理事会を結成して頂き、真剣にJIDのこれからの方向性を示し、リーダーシップをとって、魅力ある新生JIDをスタートして頂きたい。

その為には、新しい選挙制度の見直しによって、本当に必要な人材が役員として選ばれ、この難局を乗り切れる、今以上に力強い経営の出来る理事会となるよう願っています。



選考委員会

担当理事：長岡 貞夫
委員長：木村 戦太郎

**JID賞へのご応募に感謝し、
審査を進めています。**

選考委員会 委員長 木村 戦太郎

JID 賞へのご支援ご協力有難うございました。
おかげさまで2010年JID賞ビエンナーレの応募者数は、前回は30点上回る217点となりました。
JID賞ビエンナーレは今回で3回目ですが、毎回応募率を向上させて来ており、選考委員会では、JID賞が社会に定着して来た証ではないかと受け止めています。

応募数の部門別内訳は、以下の通りです。

- インテリアスペース部門：174点
- インテリアプロダクト部門：41点
- インテリア研究・著作・業績部門：2点

JID賞の審査は、7月早々に第1次審査会を開催しましたが、前回同様優れた応募作品が多く、委員一同慎重に審査を行いました。

続いて8月早々に第2次審査会を開催し、インテリアスペース部門については現地審査対象作品を選定し、それぞれに複数の審査担当者を決定しました。インテリアプロダクト部門については、最終審査当日の現物審査対象作品を選定しました。

この2次審査においては、元々応募数が多く優れた作品が多かったために2度目の絞り込みは、各選考委員にとってまさに苦渋の選択となりました。

インテリアスペース部門については、各最終審査対象作品について、複数の選考委員による現地審査が行われ、一定のフォーマットによる現地審査報告書が作成されて最終審査の資料として利用されます。

最終審査は特別審査員を含む全委員の日程がうまく調整でき、10月末の実施となりました。各賞が決まり、11月中には受賞者にご連絡できる予定です。

今後の予定は、JID賞リーフレットの作成と賞盾の作成となりますが、厳しい予算の中でどう実施するか知恵を絞っております。さらに2010年1月のJID賞展および贈賞式の企画についても進めてまいります。

以上、2010年JID賞ビエンナーレについてのご報告、お知らせでした。今後も会員各位のご支援ご協力を宜しくお願いします。

特別事業委員会

担当理事：村口 峯子
委員長：富田 恵子

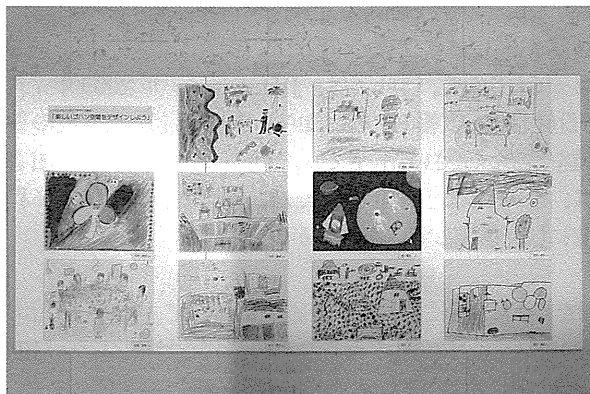
「こどもインテリアデザイン学校」 活動報告

こどもインテリアデザイン学校委員会 小川 和彦

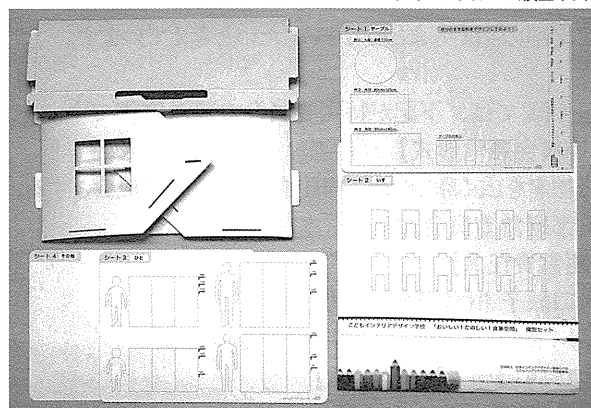
こどもインテリアデザイン学校 プレイベント

「楽しいごはん空間をデザインしよう!」

7月30・31日の2日間、JID事務局のある新宿パークタワー内 OZONE プラザ3Fにて、2009年度JT青少年育成に関するNPO助成を受けて「こどもインテリアデザイン学校 楽しいごはん空間をデザインしよう!」が開かれました。まず最初に、講師の食空間のレクチャーより、楽しくごはんを食べる空間はどんな空間かイメージを考えてもらいました。次にそのイメージを元に、各自が考えた楽しいごはんを食べる空間を色鉛筆とクレヨンを使ってA3の画用紙に絵を描きました。最後に1人ずつ参加者と講師の前でプレゼンテーションを行いました。今回は10名と少人数でしたが、参加した児童は夏休みのよい経験となったことと思います。



▼ダイニングルーム模型キット



第1回 こどもインテリアデザイン学校

8月25・26日の2日間、埼玉県所沢市富岡公民館にて、「第1回 こどもインテリアデザイン学校」が開かれました。

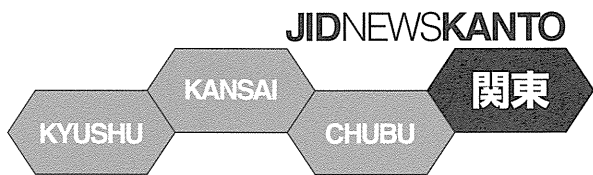
この教室では、小学生を対象に、ダイニングのインテリアのレクチャーからダイニングテーブルのデザイン、ダイニングルームの模型製作、プレゼンテーションを行いました。今回使用した、ダイニングの模型キットは、JT青少年育成に関するNPO助成を受けて、こどもインテリアデザイン学校委員会が作成したものを使用いたしました。

今回は夏休み最後の週とあって、20名の定員に約30名の参加があり、大好評のイベントとなりました。

今後この教材の改良を行い、こどものインテリア教育に教材として役立てば嬉しいと思っております。

こどもインテリアデザイン学校は、今後、川崎市、小平市、世田谷区での開催を予定しております。

また、今回会場を提供していただいた所沢市富岡公民館に改めて御礼申し上げます。



JID公益法人制度改革・関東事業支部特別委員会 第一回定例会スタート!

JID公益法人制度改革・関東事業支部特別委員会
運営責任者／関東事業支部 副支部長 石川 尚

6月開催の関東支部運営委員会において、JID 公益法人制度改革・特別委員会の設置が決定されたことをふまえ、さる7月15日、本部事務局会議室にて第一回定例会を開催致しました。JID 公益法人制度改革・関東支部特別委員会(略:公制改委員会)は、公益法人とは何か?、公益法人のメリットデメリットの詳細な比較検討、公益法人／一般社団法人の選択等について、今後のJIDがどうあるべきかを踏まえ、より多くの支部会員の意見をお聞きし、協議し、今回の公益法人制度改革に対応する関東支部の指針をまとめてまいりたいと考えています。

つきましては、下記が特別委員会の運営詳細です。

【委員会運営形式】

参加者を広く募るため、自由参加形式の委員会とする。
支部運営委員会委員が基本委員となる。

【運営責任者】

村口峯子 担当理事 日方一城 支部長
石川 尚 副支部長 井出昭子 副支部長

【定例会予定開催日・場所】

奇数月、第3水曜 19:30～ 事務局隣 会議室

さて、第一回定例会では冒頭、酒井理事長より「公益法人制度改革の現状報告および公益法人改革に臨むにあたって」現状の制度改革について説明があり、現理事会としては前理事会の方針を踏まえ、公益法人化を目指すことを前提に、来年度申請予定とし、会員個々の意見をベースに今後決めて行きたい(酒井理事長、阪井副理事長)との報告がありました。

正副理事長の説明報告を踏まえ、

- 過去に行ってきたJIDの公益実績を検証し、今後の新公益事業計画へ発展させることにする。
- 総務省とJIDの公益と共益という考え方についての隔たりに我々の考えを主張し、現実的なガイドラインをクリアする方向の模索。
- 良い機会と捉え、JIDのアイデンティティを明確にして、全会員がJIDの社会的役割など将来を議論すべき。等、参加会員からの自由闊達な意見がありました。あらためてこの特別委員会を「JIDの将来像と発展を考える」

運営会議と位置づけて進めたいと考えますので、支部会員の皆様におかれましては何方でも参加自由ですので、次回のご出席をよろしくお願いいたします。

* JID公益法人制度改革・特別委員会(略:公制改委員会)に関するお問合せは

事務局 Email: head@jid.or.jp TEL: 03-5322-6560

参加者(五十音順)

秋山修治、池田和修、石川尚、泉修二、井出昭子、小野由記子、小野上勝志、菅野民子、小野上勝志、酒井正人(理事長)、阪井良種(副理事長)、櫻井良樹、佐藤健一(理事)、萩原多恵子、峰尾武、村口峯子(理事)、安田恵

関東事業支部広報ホームページの 新会員を対象に説明会を開催

関東事業支部 広報委員会 副委員長 菅野 民子

関東事業支部広報委員会では、「JID 関東事業支部会員のブランディング UP!」を掲げております。広報活動の重要な役割を担う関東事業支部ホームページでは、今期 HP のトップページの大胆な改訂に伴い、会員情報ページである作品掲載は、ビジュアルに効果を増すものと確信しております。ご存じのように関東会員全員の表記スタイル(無料)をとっております。個人のブランディングにとって最適な媒体であるインターネットによる告知効果は、現代では無視できないものと思っており、そのためにも会員の全員の作品掲載を目標に、個人ミニホームページの2009年度の第1回目の定期更新(年3回)をしました。作品掲載にはオプション費として年間掲載費 3,000 円となっております。(詳しくは、JID 本部メール 2009 年 7 月 9 日付「関東広報 HP のお知らせ!!」に添付した3枚の書類をごらんください。) さて、今回のエントリーでの参加者は、5～7人ほど増加しましたが、まだまだ全員の25%程度にしか達成していないのが現状です。

また、9月2日には、JID 会議室において、昨年4月より JID に入会して頂きました新会員の皆様を対象にした「JID 関東事業支部 HP の会員ページの説明会」を開催しました。映像による JID の会員活動の現況にはじまり、関東 HP の詳しい説明をさせていただきました。新会員の JID



に対する期待や疑問など、JIDを理解し、よりJIDを活用して頂くためのノウハウなど、多岐にわたり新会員とのコミュニケーションをはかることができました。今後も広報活動の一端としてこのようなイベントを開催させていただきたいと思っております。

尚、当委員会では随時新規広報委員の募集をしております。また、委員活動へのご意見ご要望もお待ちしております。
*問合せ先: jidkth@gmail.com

Next Designのヒントを感じ取る セミナー企画

関東事業支部 総務・組織委員会 委員長 池田 和修

日本の意匠 その源泉と発想を探り、Next Design のヒントを感じ取るセミナーを、＜日本の意匠『温故知新』物語全12話 これまでのデザインこれからのデザイン＞と題して企画いたしました。

様々な分野の、活躍されている方々のお話から“ビジネスパワー”の源を探り、すばらしい日本の伝統文化と匠の技、最先端技術と開発エピソードなど、色々な話題を交え『温故知新』をキーワードに趣向を凝らしたセミナーとします。

日本のデザイン力・技術力がより一層厚みを増し発展する為のヒントとなり、『かけがえのない自然環境と共存する豊かな暮らしを持続できる社会』それを実現できる事を願います。

また、自然と感性の合作である日本文化 その豊かな暮らし、環境を後世に伝えるべく、このセミナーは、将来を担う若いデザイナー・学生・デザインに関心のある一般の方々まで広くを対象とします。

そのプロローグセミナーとして、新光源『ダイヤモンドFEL』

のお話しを高知 FEL(株) 研究開発本部長 西村一仁氏をお迎えして開催する予定です。

日本の意匠『温故知新』物語プロローグセミナー

日時：2009年10月2日(金) 17時30分～

場所：霞が関ナレッジスクエア

講師：高知 FEL 株式会社研究開発本部長

西村 一仁 氏

パネリスト：照明デザイナー 東宮 洋美 氏

ヤマギワ株式会社プランニングデザインセンター

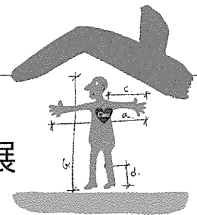
遠藤 充彦 氏

募集定員：100 名

巻頭ページより

「ケアを支えるデザイン」展 開催内容について

関東事業支部 からだとこころのケアデザイン委員会
委員長 小野 由記子



巻頭ページでごあんないいたしましたように、安全で心地良い暮らしをデザインが支えるメッセージ「ケアをささえるデザイン」展の準備が着々と進んでおります。この企画を進めるにあたり多くの人々や企業との出会いがあり、さまざまな協力が寄せられています。美しく心地良いデザインやプロダクトが集まりつつあります。

◆「いのちを支えるスープ」の普及で知られる料理研究家・辰巳芳子さんの特別出展が決まりました。素敵なワゴンやご愛用の品々を展示します。お話の会も企画中です。

◆「つえのデザイン公募」に寄せられたアイデアあふれるつえの入選・入賞作品もボード、プロトタイプで展示します。また、ノルディックウォーキングのポールの展示と体験会、快適なケア住宅の相談会も予定しております。

◆新たなお知らせです。JID 会員の作品展示コーナーを急遽8コマ用意いたしました。展示スペースに限りがありますがテーマに相応しい作品の出展を先着順で受け付けます。出展参加料は¥50,000 です。詳細のお問い合わせ、お申し込みはJID 本部事務局までください。

遠方からの出展も歓迎いたします。

◆シンポジウムの参加申し込み、出版物の申し込み方法はJID E-Mail Newsなどで9月中にお知らせいたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

「終のすみか」を考える セカンドライフの住まい展 公募

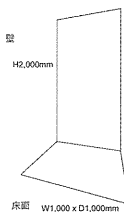
関西事業支部 研究委員会 委員長 小宮 容一

すでに、JID メール配信でご承知かと思いますが、関西事業支部主催で『「終のすみか」を考える セカンドライフの住まい展』を2009年12月2日～7日の期間、大阪市立住まいの情報センターで開催することになりました。広く会員の皆様に作品を募集いたしますので、是非、応募下さいようお願い申し上げます。詳細は、同封のフライヤー(※下図)を参照下さい。

11月に OZONE で開催される「ケアを支えるデザイン」展とも共通して「高齢社会」を迎え、高齢者が快適なセカンドライフを過ごすための「住まい」に対する、スペースデザイン、プロダクトデザインなどの提案や事例をご出品下さい。会場の都合上、12点しか展示できませんので、お早目にお申込み下さい。応募開始は10月1日(木)です。

 JID会員向け公募展 募集要項		「終のすみか」を考える セカンドライフの住まい展 【主催】 (社)日本インテリアデザイナー協会 関西事業支部							
高齢者社会を迎え、医療や福祉に関心が高まる今日、高齢者が快適なセカンドライフを過ごすための住まいに対して、私達インテリアデザイナーが積極的に提案して行くべきだと考えます。関西事業支部では、12月に大阪で開催される「日本の空間デザイン展2009」に「終のすみか」をテーマにした「セカンドライフの住まい」展の展示スペースを確保しました。この機会に、会員各位のアイデア豊かな作品、提案、事例等を展示し、デザイン関係者とはより一般の方々にも見ていただきたいと考え、作品を募集いたします。ぜひとも奮ってご応募下さいようお願い申し上げます。 (なお、関西事業支部研究委員会で2007年度に実施した「セカンドライフの住まい」アンケート調査の結果は、関西事業支部のホームページ内 ECHO36月号に掲載していますので、ご参考下さい。)									
応募資格: JID正会員及び賛助会員 対象作品: 上記主旨に則した、スペースデザイン、プロダクトデザインの建物、模型、パネル等 展示規格は、W1,000×D1,000×H1,800mmの範囲内とする。 募集点数: 12点(申込額、定数に限り次第締め切り、無審査。) 応募方法: 出展料は1点につき10,000円。出展料の振込み確認をもって正式申込とする。 振込先: 三菱東京UFJ銀行 船場支店 普通 4169924 (注) 日本インテリアデザイナー協会関西事業支部 受付期間: 2009年10月1日(木)～10月31日(土) 応募票に必要事項を記載の上、関西事業支部事務局にFAXしてください。 展示場所: 大阪デザイン団体連合機構主催「日本の空間デザイン2009」展内ブース 於: 大阪市立住まい情報センター8階企画展示室 展示期間: 2009年12月2日(木)～6日(日) 搬入日時: 2009年11月30日(月) 搬入先: 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20 大阪市立住まい情報センター8階企画展示室 TEL: 06-6242-1160 搬出日時: 2009年12月7日(月) 午前中 代理人の場合は委任状を提示のこと。主催者手配の場合は着払いとする。									
「終のすみか」を考える セカンドライフの住まい展 応募票 FAX: 06-6615-5105 作品名: _____ 応募者名: _____ 支部: _____ 会員番号: _____ 住所: 〒 _____ TEL: _____ FAX: _____ Email: _____ 展示物の規模 (W: _____ D: _____ H: _____) ※壁付けパネルは B1サイズ(W728 × H1,030)1枚に限定します。 <table border="0"> <tr> <td>搬入方法</td> <td>搬出方法</td> </tr> <tr> <td>☐ 本人</td> <td>☐ 本人</td> </tr> <tr> <td>☐ 代理人 (氏名: _____)</td> <td>☐ 代理人 (氏名: _____)</td> </tr> <tr> <td>☐ 運送会社 (社名: _____)</td> <td>☐ 運送会社にて手配 (荷払いとさせていただきます。)</td> </tr> </table>			搬入方法	搬出方法	☐ 本人	☐ 本人	☐ 代理人 (氏名: _____)	☐ 代理人 (氏名: _____)	☐ 運送会社 (社名: _____)
搬入方法	搬出方法								
☐ 本人	☐ 本人								
☐ 代理人 (氏名: _____)	☐ 代理人 (氏名: _____)								
☐ 運送会社 (社名: _____)	☐ 運送会社にて手配 (荷払いとさせていただきます。)								

展示計画を描いてください



塚口眞佐子会員

塚口会員の訳著出版記念セミナーとパーティー “フランク・ロイド・ライトへの想い”

関西事業支部 牧尾 晴喜

8月8日(土)に開催したセミナーとパーティーのご報告です。関西事業支部の塚口眞佐子会員による、フランク・ロイド・ライトの虚像を解体し天才の素顔に迫る第一級の評伝の訳書「ライト 仮面の生涯」(著:ブレンダン・ギル、訳:塚口眞佐子、学芸出版社)が出版されました。当支部では、ライト没後50年にちなんで、この出版を記念し、小宮容一、塚口眞佐子両会員によるセミナーを開催しました。セミナーの参加者は18名で、前半は小宮会員が「F.L.Wright 1909 Meyer May 邸」と題し、スチールケース社のゲストハウスだった「マイヤー・メイ邸」を、外観、インテリアとも詳しく紹介しました。後半は塚口会員からの、訳著「ライト 仮面の生涯」の予告編として、現地撮影の約200枚の写真を用いた熱いレクチャーです。ライトの建築観に軸足を置きながら、さらにそのスキャンダラスな人物像や社会背景といった幅広い内容に触れていました。また、塚口会員自身がどのようにして原書と出会ったのか、という訳著ならではの逸話もちらりめめられた楽しいセミナーでした。

没後50年、建築やインテリアの分野において今も私たちに影響し続ける「フランク・ロイド・ライト」に関する企画が無事終了しましたことを、感謝とともにご報告いたします。場所を変えての記念パーティーには、デザイン・建築関係の方達をはじめ、塚口会員の旧知のご友人や出版社の方など、計52名のご参加がありました。和気藹々とした雰囲気の中で訳著出版をお祝いするとともに今後に向けたさまざまな意見交換がある、楽しいパーティーとなりました。ご来場いただいた皆様に、JID 関西事業支部一同より改めてお礼申し上げます。

[セミナー] 平成21年8月8日(土) 16:15～17:45

会場: 大光電機(株)ライティングコア大阪 セミナールーム

[記念パーティー] 同日 18:00～20:00

会場: アパヴィラホテル淀屋橋 B1 ケント イースト



中部インテリアデザイン連絡会
名古屋市立
植田東小学校見学会
のご報告

中部事業支部 木辺 智子



5種類の樹種を使用したベンチ

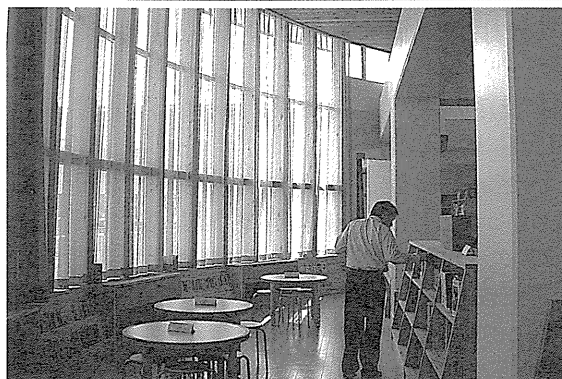
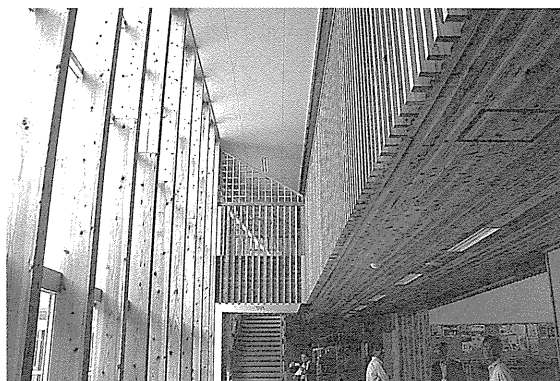
今年4月に新設された名古屋市立植田東小学校は名古屋市の小学校としては大変珍しく、木質材料をふんだんに使用し、施設それ自体が環境教育の教材となるように設計された小学校である。今回この小学校を設計された藤川原設計の原先生にお話を伺いながら施設の見学会を開催した。

6月19日(金)小学校の児童の様子も見てみたいと考え、平日の低学年の児童が下校する時間を見計らって見学会は行われた。学校側より少人数の見学会にしてほしいとの要請もあり、参加定員を20人と限っての募集だったが皆さん熱心な方ばかりで有意義な見学会となった。この地方で育った木を使用し樹種が明記されたベンチや教室や廊下、子どもたちが手で触れることができるいたるところに木材が使用され、勉強机や椅子も針葉樹系の無垢の木で高さが成長に合わせて調整できるように設計

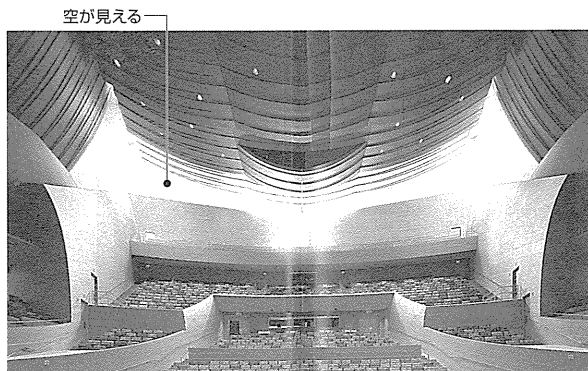
されている。先生にお聞きしたところ、この机や椅子は高さを調整するのに手間隙がかかり、とても職員だけでは手が足りないので通称「おやじの会」お父さんたちのボランティアの助けを借りて行ったということで、良い交流にもなったらしい。木材の活用は都会の子供たちに直接自然を感じさせることにもなり教育環境として意義のあるものになっているようだ。私も小学校4年生の娘がいるが、コンクリートの殺伐とした教室で参観日に学校へ行くと硬く冷たい床の上にスリッパで45分の授業を立てて聞いているのがとてもつらいと感じているが、この小学校は床材もフローリングで少しは足に優しいと感じた。この見学会を通じて子どもが育つ環境をもっと豊かにしていくように既存の小学校へも働きかけをしてくため、中部インテリアデザイン連絡会などで研究会を発足させたいと密かな野心を抱いた次第である。

木質材料の空間

机と椅子



図書室 低層校舎の中庭



ウォルト・ディズニー・コンサートホール背面客席 (ARCHITECTURE NOW より)

MEMBER'S SALON

JIDNewsを彩る会員情報の交流サロンです。
メッセージやレポート、エッセイなど、自由な会員
の声をお寄せください。

異色建築家フランク・ゲーリー 空間体験記

長岡 貞夫 関東事業支部

ロサンゼルスからの誘い

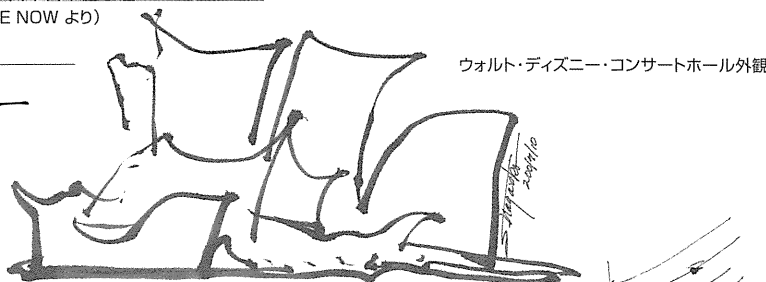
7月初め、ロサンゼルス(LA)に住む友人K氏からの「ある誘い」がきっかけでLAに10日ほど滞在し、気ままにパケーションを楽しんだ。「ある誘い」とは、音楽好きで、建築好きのK氏から7月10日にウォルト・ディズニー・コンサートホールでアジア・アメリカ交響楽団によるベートーベンの「第九」の演奏公演でアマチュア合唱団の一員として出演するとの知らせであった。正直にいうと、東京でもめったに音楽会にはでかけないのに、わざわざLAまでいってフランク・ゲーリーが設計したホールで音楽を聴きながら空間を体験できるいいチャンスと思ったのには伏線があった。それは、2001年の夏NYのグッゲンハイム美術館でフランク・ゲーリーの個展をみた。特に印象に残ったのが2003年にLAのダウントウンに完成予定のウォルト・ディズニー・コンサートホールの精巧な模型と構造解析図面(高価なCATIAというソフトによる)の展示プレゼンの残像であった。

ホールの設計者フランク・ゲーリー

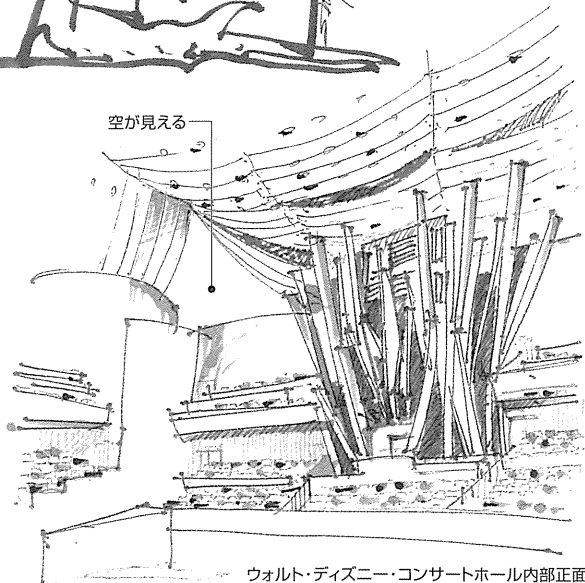
ゲーリー(1929~)はいま世界で最も注目を集めている異色で老人力を発揮している元気な建築家である。彼の建築の特徴はまずその外観(外皮)だ、紙を折り曲げ、ねじり、幾重にも重ねくねくねした不規則な形やデザインが個性的であるため違和感を感じる人も多い。しかしそれは日ごろ見かける建築が垂直、水平、斜線など直線で構成された構造ボキャブラリーとは全く違う異次元の建築だからだろう。ゲーリーの革新的で独創的な発想はジャンルを越えて「絵画・彫刻のような建築である」といわれる所以だ。

コンサートホールの空間体験

実際にステンレス・スチールで覆われ窓もない異様な外観のコンサートホールの前に立って、これは「中に入れる抽象彫刻」的建物と思った。そして内部空間はどうなっているのか?「居心地感」を早く体感したい衝動に駆られた。天井桟敷からホールを見渡すと、すり鉢状にステ



ウォルト・ディズニー・コンサートホール外観



ウォルト・ディズニー・コンサートホール内部正面

ジを囲むように客席が配置されている。反った正面と背面の木質壁は上部でスリット状に切れ空がみえる。外部サッシ越しの空からホール内に昼夜を問わず差し込む外光の陰陽が表情豊かな内部空間を醸しだしている。あたかも古代の野外劇場のイメージである。

建築とシンクロした「第九」の歓喜

コンサートホールでは音響設計が最も重要なデザインと件だろう。ホールで発生する音の反射・吸収の最適化を求めるのが音響設計。天井から吊られた青海波のように幾重にも波打った木質アコースティクス板は躍動感がありホールのデザインポイントにもなっている。見えない「音」を見事に視覚化したデザインとダイナミックな音響設計(設計豊田氏)に感心した。

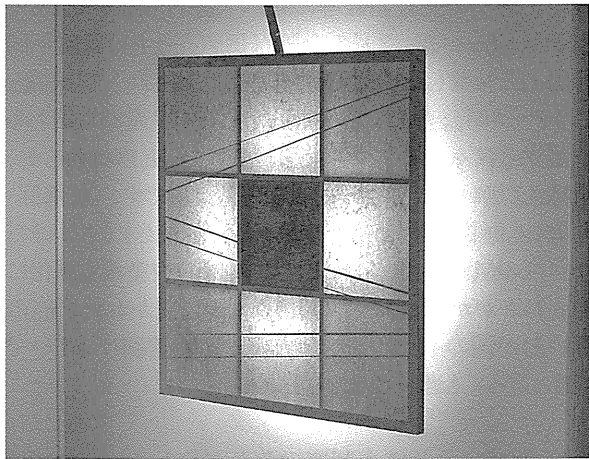
ベートーベンの「第九交響曲」のフィナーレを飾る第四楽章。K氏もいる362名の大合唱は建築空間と音響設計が一体となったホールの空間力によって出演者を高揚させ、その可能性を最大に引き出したようだ。その歌勢はホールを揺るがし聴衆をも引き込み興奮の坩堝と化した。まさに「歓喜の歌」のロサンゼルス of 薄暮であった。

木曾の漆

大瀧 隆 中部事業支部

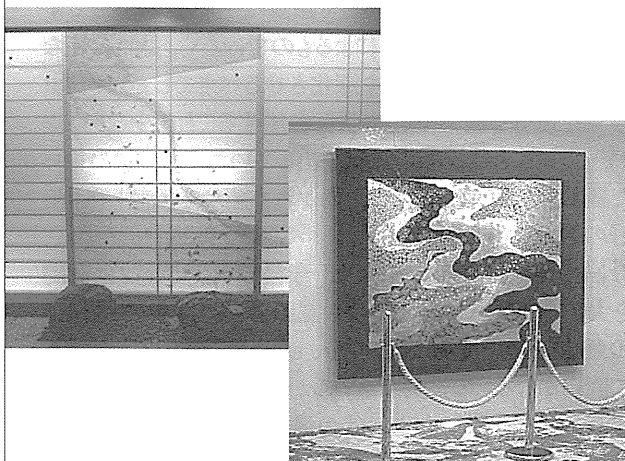
2008 年秋より、ホテル(岐阜県内)の客室(7F フロアー)と地下宴会場通路の改修を手がけました。岐阜にちなんだ“梅林”“鵜飼”“金華山”“ひとつば”の四つのテーマ毎に特色ある部屋づくりをしました。地下通路は既存の障子を活かし、和紙と照明で春夏秋冬を表現、歩きながら移りゆく季節を楽しめる様にしました。ロビーから地下へと降りるホールには、漆パネルが宴会へと向かうお客様を華やかに迎え入れます。

今回はその一部ですが、パネル、飾り障子、漆パネルをご紹介します。



■飾りパネル(客室、床の間)

テーマ毎に和紙でデザイン、照明をとり入れることで二つの表情を楽しめます。



■飾り障子(地下宴会場通路)一写真上—

春—桜、夏—鮎、秋—紅葉、冬—雪の屋形船

■漆パネル“四季彩—薄墨桜”—写真下—

木曾の漆作家とのコラボレーション。うすずみ桜の美しさと、四季の移ろいを沈金、蒔絵で表現しました。

JID

の新たな門出に

51年目を迎えて

Message from Fresh-Power

—vol.3—

関西事業支部 古市 伸子

■あなたはJIDに何を期待し、どのような協会にしたいですか? —— 協会の活動が活発になり、インテリアデザイナーのビジネスにとって、有効に働く組織であってほしい。

■あなたのビジョンは —— インテリアデザインの力は、人に心地よさや豊かさを提供できると考えています。何気ない暮らしの中にデザインがとけ込むような社会になる為に活動していきたいと考えます。そして、自分の持っているスキルが、人の居住空間に真の豊かさを注ぎ込めるインテリアデザイナーになることです。

■支部活動について —— 新規加入者にとって、メンバーシップの特権が明確になれば良いと考えます。

■JIDのどの委員会に参加し、何をしたいですか? —— 国際委員。英国との橋渡しにより、メンバーに利益が提供できればよいと考えている。この結果から未加入メンバーに、加入する利益や意味が明確に感じ取れるような活動。

■その他 —— 歴史あるJID組織が、今後継承していくにあたり、新たなメンバーが必要であると考えます。その為にはメンバーにとっての利点や参加意味などを明確にできれば、JIDの存続の意味を多くの人に伝えていけるのではないかと感じています。

ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所 (賛助会員)
取締役兼COO 白井 秀治

「JIDへの入会」

この度、入会をさせていただいた ITEA 株式会社と申します。弊社は、アレルギー疾患の治療に携わる医師、研究者と共に、室内環境中のアレルゲン(アレルギーの原因となるダニや花粉などの抗原)を測定することを業務にした検査会社です。住居内のアレルゲン汚染という視点から、家屋内アレルゲン測定や、汚染低減の方法などについて調査・研究を行っております。

近年、花粉症などのアレルギー疾患の増加が社会問題になっています。中でもアレルギー性鼻炎や気管支喘息、一部の皮膚炎において、居住環境内の埃(ハウスダスト)に含まれるダニ(主にはダニの糞や死骸の微細塵)が主要な原因となることが明らかにされてきました。ダニによるアレルギー患者増加の背景として、生活環境や生活様

式の変化により、1年を通じてダニが繁殖しやすくなったこと、そして換気回数の減少によってダニの糞などのアレルゲンとの接触機会が増加したことが、大きな要因と考えられています。

アレルギー疾患の予防治療の基本は、原因の除去・回避であり、掃除などの物理的除去策の実施が推奨されています。居住者による掃除などのセルフケアはもちろん重要ですが、更に健康で快適な生活を送るためには、インテリアデザイン、建築構造、部材の選択など、様々な項目について専門知識を有する多くの方々の取り組みが、今後重要になってくると思われます。

微力ではございますが、会員皆様の下、研鑽を重ね、本会発展に貢献をさせていただきたい所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

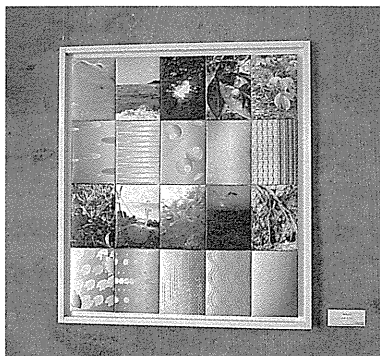
関東事業支部 尾崎 めぐみ

「JIDへの参加とこれからの自分」

はじめまして、2月より入会した尾崎めぐみと申します。美大を出て、テキスタイルの分野にてアパレルを経験～インテリアに移行して18年、企業内デザイナーで少し物足りなさを感じていた頃に、JIDへの入会を勧めて頂く機会を得て、参加をすることになりました。

入ってからは総務委員会にも参加させて頂いております。ちょうど世の景気も良くない今だからこそ、この春に会社を辞め、セルフマネジメントでどこまでできるかやってみよう! と思い、展覧会(横浜開港アンデパンダン展にてアートパネルの出展※写真下)やプレゼンボードの作成等を行っています。一人でやれること、一人ではできないこと、そんな自問自答をしながらも、皆様の活動・活躍に励まされながら、刺激をうけながら、そして時には優しく相談にものってもらいながらJIDに関わり、自身の向上と気持ちの余裕ができれば嬉しく思います。

最近のマイブーム… 幼少の頃に5年ほど過ごしたタイには、熱い! 私の気持ちを動かしてくれる何かがある気がして、7月にかけて訪問してしようと計画中。現地大学での教鞭をとっている友人とも合流し、何かをつかんできたいと思っています。



九州事業支部 川崎 泰秀

「新たな門出と法人改革」

結成後、半世紀を経て新たな1年目を迎えたJID。それが想像したでしょうか、おりしも日本経済・世界経済ともに未曾有の氷河期のただなかにあります。

昨年度、執行部役員をはじめ各事業をご担当された会員の皆様のご尽力で、50周年記念事業が多岐かつ盛んに開催され、成功裏に終了したことは大いに喜ばしいことでありました。その最中に米国に端を発した金融危機は瞬く間に世界に拡大し、すでに1年を迎えようとしています。おのずと産業界も大波を被り、とりわけ輸出を中心とした製造業が大きな打撃を受けたのはご承知のとおりです。

近頃、経済の先行指数等によりやく底打ち感がでてきたと報じられる一方、7月の全国百貨店売り上げは前年同月比11.7%減(九州地区は11.4%減)同17ヶ月連続減というデータが公表されています。インテリア産業に関わる立場から我々の業界をみても、まだまだ実感はおろか、予感さえ無いというのが偽らざる現況認識です。首都圏・地方とも同様に住宅着工件数も落ち込んだまま、いまだに回復の気配が感じられず、オフィスの空室率も悪化に歯止めがかからない。このようななかに置かれた、底の浅いわが国のインテリア業界と我々は、苦闘にあえいでいると言っても過言ではありません。

ときを同時に公益法人制度の改革が施行され、すでに昨年から受付が開始されています。向こう3年半の間に全てのこの種の法人が、何らかの方向性と結論を得なければなりません。

JID内部でもこの問題に関して議論は始まったばかりですが、一部の会員や理事によるものではなく、より広範な会員の意見を求め議論を深化させるべきでしょう。日頃意見を述べる機会や、会議に参加することが少ないメンバー諸兄にも積極的に意見を出していただき、熱の籠った議論を全会員で展開し、開かれた組織を確認しあう絶好の機会であると考えます。

今回の選択はいうまでも無く、今後のJIDの事業と活動を大きく制約し左右する重要な課題です。昨年の「原点」の意味をもう一度振り返りつつ、改めてこの2文字が我々に問いかけるものは何であるのか想いを巡らせ、全会員で今後の50年に向かったの礎造りを、さらに言えば、社会の求めに応えうる魅力的な事業を展開するためには、どのような海図にいかなる進路を採るのか、ベストの選択をしなければなりません。

公益法人改革を受け持つ所轄官庁から見た、諸デザイン団体のこれまでの在り方と事業及び諸活動等に関する評価認識は、我々内部の立場のそれとはズレがあることも客観的に判断しなければならない要素といえます。➡

▼ 活発な意見の交換は、JIDを活性化させるうえでも最も効果的な手段のひとつです。

また、この種の議論は時間ばかりかけても、導き出される結果はほぼ同様というのが通例です。繰り返しの堂々巡りの議論に陥らないように、許されるかぎりで時間を区切り、密度の濃い議論のなかからコンセンサスを求めるのが常道でしょう。

日常業務も大変で、お互い精神的にも余裕が持ちにくい時勢ではあります。だからこそ全会員の協力が必要です。50周年記念の事業成功に向けた活動等とは異なりますが、気持ちの上では同レベルの、組織を挙げた対応力が発揮され集約されるべきだろうと思います。法人改革の選択はD-8等デザイン職能団体に一様に求められています。インテリア分野で最も歴史あるJIDに相応しい対応が求められていると、認識し行動する必要があるのではないのでしょうか。

新会員 紹介 正会員

①会員名 ②会員番号(支部) ③推薦者 ④勤務先・事務所 ⑤自宅



① 神野 厚美
かんの あつみ

② 1300 (中部事業支部)

③ 安藤 清・峰尾 武

④ 社会医療法人財団 董仙会恵寿総合病院
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
Tel: 0767-52-3211 / Fax: 0767-52-3218
E-mail: a-kanno@keiju.co.jp

⑤ 〒926-0855 石川県七尾市小丸山台2-102
Tel: 0767-52-7200 / Fax: 0767-52-6637
E-mail: atsumik@sr.incl.ne.jp



① 小島 直子
こじま なおこ

② 1301 (関東事業支部)

③ 吉田 紗栄子・小野 由記子

④ 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-9-3-405
Tel: 03-3417-1360 / Fax: 03-3417-1360
E-mail: naok@olive.plala.or.jp

⑤ 同上

今後のご発展とJID活動でのご活躍を期待しています

事務局からのお知らせ

会員異動のお知らせ

※「会員名簿」該当ページをご訂正ください

◆正会員

会員番号1187 上山 佳宏 会員名簿・関東p.3
・勤務先住所 〒107-0061 東京都港区北青山3-3-7-511
変更 Tel: 03-6438-9090 / Fax: 03-6438-9091

会員番号0579 斉藤 武行 会員名簿・関東p.6
・E-mail 変更 take.saitoub@tmp.takenaka.co.jp

会員番号1261 佐伯 隆子 会員名簿・関東p.6
・名前 変更 佐伯 喬子

会員番号1202 竹内 悟 会員名簿・関東p.7
・勤務先変更 株式会社ティアンドエス
〒005-0841
北海道札幌市南区石山1条8丁目9-44
Tel: 011-591-9056 / Fax: 011-591-9056
tands@ac.avone-net.jp

会員番号0850 道明 三千代 会員名簿・関東p.8
・勤務先変更 MK design
〒116-0003 東京都荒川区南千住8-12-1
けやき通り北八番館209
Tel: 03-3801-7269 / Fax: 03-3801-7269
mkdesign@plum.plala.or.jp

会員番号0643 李 泰久 会員名簿・関東p.12
・FAX 変更 Fax: 03-5419-2091
→Tel / Fax: 03-5419-2090

会員番号0469 鈴木 儀雄 会員名簿・関西p.19
・勤務先住所 〒542-0061 大阪市中央区
変更 安堂寺町1-3-12 大阪谷町ビル702
Tel: 06-6796-7057 / Fax: 06-6796-7058

244号 新会員紹介(正会員)の訂正

吉原 哲也 誤) tetsu-ya@ares.ecnet.ne.jp
正) tetsu-ya@ares.eonet.ne.jp

訃報

梶田 尚令 氏 (関東事業支部正会員)
平成21年7月12日逝去 享年70歳
謹んでご冥福をお祈りいたします

JID news

企画・編集：本部広報委員会

JID News 担当理事 安藤真吾

JID News 委員長 八十常充

// 特別委員 清家淳一

// 委員 小宮容一

// 関東事業支部 石川尚

// 中部事業支部 杉崎晃久

// 関西事業支部 山本紗代子

// 九州事業支部 下田隆

——あとかき——

JID New は本号で通巻 245 号を数えました。

インターネット全盛の時代にあって、「紙媒体」での情報発信は、カラー印刷はコスト高になる、ページ数を増やしていくなどの予算的な制約がありますが、気軽に読める、手元に置いておける、どこでも読めるなど、「紙媒体」でこそその良さもあります。

JID News は、JID月報と会員向け情報の双方を提供するという性格を持っており、これらの情報をうまくバランスさせ、さらに読みやすく親しみやすいものとなるよう、八十委員長以下編集委員一同、毎号意欲的に取り組んでいます。そして、「紙媒体」でこそその良さをさらに活かせるよう工夫をしていきたいと考えております。

これには、編集委員の努力もさることながら、本部ならびに各事業支部の活動状況のスムーズな情報提供が不可欠です。今後とも JID New がさらに充実したものとなるよう、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

安藤 真吾

□次号スケジュール

- ・編集(企画)会議 11月6日
- ・原稿締切日 11月27日(厳守お願いします)
- ・編集(校正)会議 12月18日
- ・発行日 12月末日

* member's SALON はみなさんからの投稿をお待ちしています。デザイン情報、ご意見、エッセイや地域での情報などをお寄せ下さい。

No.245

発行日：平成21年9月30日

編集デザイン：西尾直事務所
印刷：株式会社岡本印刷所